

授業科目	災害看護学				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	金山 正子										
授業概要	災害看護の定義、法律、災害の種類と特徴、災害サイクル、災害発生時の社会の対応や支援体制、看護活動の実際などの基本的知識について概説する。また、災害発生時に必要な看護技術や病院・地域における看護活動の実際について、さらに社会が求める看護の役割について概説する。看護の実務経験を活かして最新の看護の現状や動向を取り入れて概説する。										
授業形態	講義、演習		授業方法	グループワーク、ディスカッション Classroomを活用							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害および災害看護に関する基礎的知識を説明できる。 2. 災害医療に関する国の政策と主な法律を説明できる。 3. 災害が人々の健康や心理及び生活に及ぼす影響を説明できる。 4. 災害各期や要配慮者の特性に応じた災害支援活動を説明できる。 5. 災害看護における看護専門職の役割と課題について説明できる。 										
理想的レベル	標準レベル1~5の目標を達成し、さらに、災害各期の看護について、社会が求める災害看護の役割について探索する。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験	50%										
小テスト											
レポート	50%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU31405J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
復習課題：授業の内容										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：災害看護に関する基礎的知識（金山正子）</p> <p>災害看護の定義、災害の種類と疾病構造、災害サイクル、要配慮者・避難行動要支援者への支援、災害における連携について概説する。</p>										
第2回	<p>テーマ：災害発生時の社会の対応やしきみ（金山正子）</p> <p>災害に関する制度（災害対策基本法、災害救助法、防災計画など）、災害情報と伝達のしきみ、災害関係各機関の支援体制、災害時のボランティア活動などについて概説する。</p>										

第3回	<p>テーマ：災害医療体制および超急性期の DMAT 活動の実際（外部講師：災害拠点病院 DMAT チーム看護師、高橋甲枝）</p> <p>災害医療活動の特徴と超急性期(発災から 72 時間)の初動体制について解説する。医療救護所等、現地で活動する災害派遣医療チーム (DMAT) の活動を紹介する。</p>
第4回	<p>テーマ：災害時に必要な技術(隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリアージの目的、方法、応急処置、搬送などについて概説する。 ・病院における災害への備え、災害訓練、病院における災害時の初動体制について概説する。
第5回	<p>テーマ：災害各期の看護(金山正子)</p> <p>災害各期の急性期、亜急性期、慢性期、静穏期における看護活動、避難所および福祉事務所、応急仮設住宅等における看護活動について考え、看護専門職の役割について考える。</p>
第6回	<p>テーマ：対象別にみた災害看護の実際について考える(金山正子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域看護、母性看護、小児看護、高齢者看護、精神看護、慢性看護、在宅看護の視点から、看護の役割を考える。
第7回	<p>テーマ：災害時の被災者および援助者へのこころのケア(矢治亜樹子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者および援助者が抱えるストレスとその過程、災害各期の被災者・援助者のこころのケア、DPAT の活動などについて概説する。 ・また、災害時の精神障がい者のケアについて考える。
第8回	<p>テーマ：まとめ(金山正子)</p> <p>災害看護学の知識および災害看護の役割についてまとめる。</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・酒井明子, 増野園恵編：看護学テキスト NiCE 災害看護 看護の専門知識を統合して実践につなげる, 南江堂, 2023 年
参考図書・教材 / データベース・雑誌等の紹介	<p>○災害看護に関する図書や DVD が図書館にあるので、積極的に活用してください。</p> <p>参考図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒井明子, 長田恵子, 三澤寿美編：ナースィング・グラフィカ 看護の統合と実践, 災害看護, メディカ出版, 2022. ・三澤寿美, 太田晴美編：看護学テキスト統合と実践「災害看護- 寄り添う, つながる, 備える-」, 学研メディカル秀潤社, 2018. ・柳田邦男, 酒井明子編：災害看護の本質-語り継ぐ黒田裕子の実践と思想-, 日本看護協会出版会, 2018. ・米倉一磨著：災害看護と心のケア：福島「なごみ」の挑戦, 岩波書店, 2019. <p>○学会や団体の資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本災害看護学会ホームページの資料 ・日本看護協会ホームページの資料

課題に対するフィードバックの方法	質問への回答や課題に対するコメントは、講義中に伝えたり、Classroomで掲示を行う。成績発表後にClassroomで成績分布を掲示する。
学生へのメッセージ・コメント	日本では、豪雨や地震など様々な災害が発生しており、いつ、どこで、どのような災害があるかわかりません。どのような災害対策や支援活動が行われているか、ニュース等で情報を得てください。1年次の看護学概論で災害看護について講義で少し学習していますが、さらに最新の知識を得て、日常から、看護専門職として活動できるように考えていきましょう。また、災害看護は看護師国家試験に頻出されています。知識をしっかり習得しましょう。